

公益財団法人 8020 推進財団

令和4年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録

1. 事業名：オーラルフレイルの早期発見に於ける口腔観察シートの有効性及びその活用に関する調査研究
2. 申請者名：西春日井歯科医師会 会長 田中勝己
3. 実施組織：西春日井歯科医師会
4. 事業の概要：愛知県清須保健所を中心として開発した口腔観察シートの有効性に関するエビデンスの確立を目的として、口腔観察シートの活用によりオーラルフレイル等の口腔内のトラブルの早期発見に於ける口腔観察シートの有効の確認の為、西春日井福祉会の協力を得ての調査研究。
5. 事業内容：西春日井福祉会の経営する特養ホームの入居者のうち、比較的認知機能に問題が無いと思われる入居者を対象に口腔観察シートによる事前の聞き取り調査と歯科医師による対象者への口腔内健診の結果がどれほど合致するかの調査研究。
6. 実施後の評価：朝日大学歯学部社会口腔保健学教室に在籍する徳本龍弘先生に依頼をして、データ解析をして頂いたところ、要介護者の口腔ケア開始にあたり、歯科専門職以外による「口腔観察シート」（スクリーニング検査）を用いる事により、要介護者への的確な口腔ケア及びオーラルフレイル予防に対して、有用であることが示唆されるとの結論を得た。
(今後の課題)：朝日大学歯学部社会口腔保健学教室に在籍する龍弘先生にデータ解析を依頼する以前に、愛知学院大学口腔衛生学講座の嶋崎教授をお訪ねしてサジェスチョン頂いたところ、西春日井福祉会の経営する特養ホームの入居者は、過去に口腔衛生的な種々の研究を行う際に、比較的口腔清掃状態が良いとされるグループに属している筈なので、今回の調査結果には期待するほどの有意差が生まれ無いのでは無いかとの危惧を述べられて、解決策として、1. 今回と同様の調査を行うのであれば、既に高い口腔衛生教育が為されていると思われない対象を調査すべきである事、2. オーラルフレイルとの関係性に特化するのであればオーラルフレイルの診断を行うにあたり社会保険に採用されている種々の検査と口腔観察シートの結果の比較をするべきとのご意見を賜り、次年度以降はその方向で調査研究をして行きたいと思っております。1. に関しては2022年度より新たな特養ホームを西春日井福祉会が開設したことにより、その施設の入居者のみを対象とする事により、2. に関しては既に口腔機能低下症の口腔機能検査を保険請求している西春日井歯科医師会の会員や2023年度4月より愛知県歯科医師会が愛知歯科医療センターで新たな事業として行うことが決まっている口腔機能検査事業への協力により課題の解決を目指していこうと考えています。